

## 第17回 信州安曇野 薪能



名誉市民で観世流能楽師として国の重要無形文化財保持者の栄誉を受けた故・青木祥二郎氏。生まれ故郷である明科で、今年も信州安曇野薪能を開催します。今年の演目は、能楽「羽衣」と「大会」、狂言「水掛罽」などです。

■日時 8月18日(土)  
午後4時30分開場  
午後5時20分開演

■場所 明科龍門測公園 特設能舞台(雨天の場合明科体育館)

■演目  
能 羽衣 和合之舞  
青木道喜、宝生欣哉  
狂言 水掛罽  
茂山七五三、茂山正邦、茂山宗彦

舞囃子 通小町 雨夜之伝  
片山九郎右衛門(人間国宝)  
能 大会  
片山清司、宝生欣哉、茂山七五三

■入場料  
一般 前売り 3,000円  
当日 3,500円  
学生(大学生等) 1,000円

(高校生以下) 500円  
※前売り、当日共通

■入場券取り扱い所  
安曇野市公民館各分館、平安堂あづみ野店、市民タイムス安曇野インフォメーションセンター、明金堂書店、豊科サティほか

■その他 軽食・飲み物の販売があります。また次のとおり送迎無料バスが出ます。  
JR豊科駅 午後2時40分発  
JR穂高駅 午後3時発  
■問い合わせ  
社会教育課文化振興係  
(TEL 62・4565・FAX 62・3525)



夏の夜のひととき、  
かがり火が幽玄の世界を照らし出します

## 能「羽衣」はどんな話？

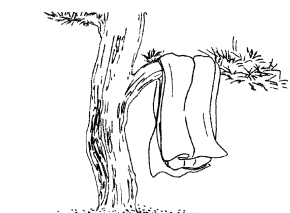
春うららかな陽ざしのもと、白砂青松のどかな浦では、天神が、楽しげに、昼下がりの一時を、過ごしておった。



①駿河国三保の松原に住む漁師白龍が、釣から帰ってくると、



②音楽が聞こえ、いい匂いがします。



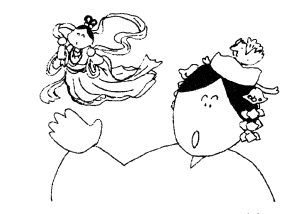
③見まわすと、一本の松に美しい衣が掛かっており、



④白龍は、家宝にしようと思い、衣を取ります。



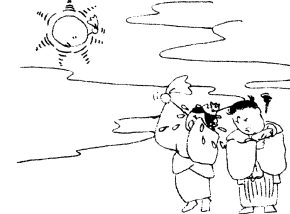
⑤すると、一人の女が呼びとめ、衣を返してほしいと頼みます。



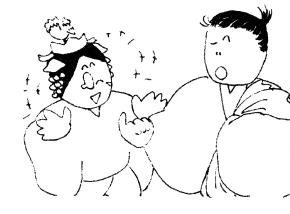
⑥聞けば、女は天で、衣は天の羽衣だと言ひ、



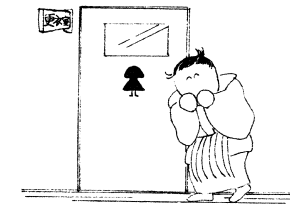
⑦白龍は、そんな珍しいものであることを喜び、ますます返そうとしません。



⑧天人は、羽衣がなくては天に帰れないと悲しみ、



⑨あまりの哀れさに、白龍は、衣を返すかわりに、舞を見せてほしいと頼み、



⑩天人は喜んで承知し、羽衣をまとい、



⑪月世界の天人の生活の面白さや、三保の松原の景色を讃え、



⑫駿河舞をまいながら、天へと帰って行きます。

絵と文 渡辺睦子 (『マンガ能百番』平凡社刊より)



## 体験してみよう、発見してみよう チルドレンズ・ ミュージアム・ イン・あづみの

身近な不思議を体験できる移動科学館がやってきます。遊びながら、学びながら、子どもたちの科学の芽を育てます。

■日時 7月28日(土)

午前10時～午後4時

■場所 豊科勤労者総合スポーツ施設体育館

■対象 小学生、幼児(親子での参加も可)

■参加料 無料(一部のプログラムのみ先着順で200円)

■問い合わせ 社会教育課子ども支援係 (TEL 62・4565)

東京藝術大学生による  
アンサンブルコンサート

## 夏の夜の 夕涼みコンサート

東京芸術大学の学生による音楽器のアンサンブルコンサートです。今年はボヘミアとチロルの音楽特集を加えた信州の夏にぴったりのプログラムです。

■日時 8月2日(木)

午後7時～9時

■場所 穂高会館講堂

■入場料 無料

※当日駐車場の混雑が予想されますので、できる限り公共交通機関などをご利用ください。

■問い合わせ 穂高会館内穂高教育課生涯学習係

(TEL 82・5970)

